

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立土居高等学校

学校番号 (3)

評価実施日		平成31年2月20日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	石川 勝司	四国中央市立土居中学校 校長	新規
	越智 康	四国中央市土居文化会館 館長	継続
	手島 純	伊予銀行土居支店 支店長	新規
	阪中 洋	福助工業株式会社 人事課長	継続

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 授業を参観して、生徒たちが生き生きと活動している姿が印象的であった。学習習慣が身に付いていない生徒に対する指導に今後とも継続して取り組んでほしい。 教職員のICT等の活用に関する課題があるようだが、生徒たちについても社会に出たら情報機器の活用が必須になっているので、情報機器に対応できる力を付けてほしい。</p> <p>(2) 生徒指導 地域では、落ち着いた学校であるという印象が定着してきている。土居高校生の活躍もよく耳にしている。継続した指導が大切であるので、今後ともきめ細やかな指導にあたってほしい。 スマートフォン等に関連して高校生がトラブルに巻き込まれるケースをよく耳にするので、使い方の指導もお願いしたい。</p> <p>(3) 進路指導 進学・就職ともに具体的目標を達成し、進学において今年度も国立大学入学者を出す等幅広い進路に対応できている。就職については、職場に定着していけるような取組をさらに進めてほしい。</p>	<p>・学習習慣が身に付いていない生徒に対して、学び直しの教材等も活用して取り組んでいるが、家庭学習の習慣を定着させるために、課題の工夫、家庭学習時間調査票の活用、面接等のきめ細やかな指導を徹底したい。 ・教職員の電子黒板などICTを活用しての取組が大切であるとする。研修会等も開催し、さらに活用を勧めたい。</p> <p>・家庭や地域との協力関係を大切にしながら、今後とも生徒たちの指導にあたっていきたい。 ・ヘルメットの正しい着用、交通マナーについて継続して指導していきたい。 ・今年度からスマートフォンの持込を許可制としたが、メディアリテラシーの観点から指導していきたい。</p> <p>・進路指導については、学校全体での指導、個別指導の体制を今後とも継続していきたい。 ・進路指導と生活指導の一体的な取組を今後も基本としていきたい。</p>
<p>2 重点目標について 重点努力目標、マニフェストについて学校の実態に即しており、継続して取り組むことがよいと思う。</p>	<p>・重点努力目標に基づき計画的、継続的な取組を行うとともに、その評価の改善に努めたい。</p>
<p>3 説明・公表について</p> <p>(1) ホームページで学校の様子がよくわかる。今年度は、土居高校生の活躍が新聞等のメディアでも多く紹介されていた。</p> <p>(2) 学校自己評価もホームページで紹介されていてよい。</p>	<p>・ホームページが2018年度リニューアルした。今後さらに工夫していきたい。マスメディアに対しては、プレスリリースの情報提供については、今後も継続したい。 ・学校自己評価については、ホームページだけでなく、「学校だより」でも公開したい。</p>
<p>4 学校運営への提言</p> <p>(1) 地域と連携して学校の魅力的な取組を一層進めてほしい。</p> <p>(2) 町内の幼保小中学校等の連携をさらに進めてほしい。</p>	<p>・2018年度は観光甲子園のグランプリ等土居高校の取組が広く周知されたが、一過性に終わることなく継続した取り組みをしてほしい。 ・交流会などの取組を継続していきたい。</p>